

2025. 2. 16 開催 研修会『障がいのある方々への合理的配慮について』運営面での気付き

【会場について】

○自治体が運営している施設の場合は、有料のイベント（＝参加者から参加費を頂くイベント）を開催しようとする、通常より高い料金を徴収されるところがあるので、注意が必要。

【参加者集めについて】（今回最も苦戦した部分）

○HP や SNS での宣伝だけに頼り過ぎてはいけない

（こちらは全世界に発信しているつもりでも、意外と見られていないこともあるかも。）

○電話やメール等で、地道に個別に案内する方が手間はかかるが確実かもしれない。

○外部からの「初めてのお客様」に来て頂くことも大切だけれど、「主催者の顔馴染みの方々がほとんど」であったとしても、何も問題はない。

○結果的に、10 名程度の参加者であったとしても、充分「画になる」。

※10 名程度を 2 グループに分けて、部屋の右側と左側に分かれて座って頂く等の工夫で、「何となく部屋いっぱい」笑 入ってくれているように見えるもの。

○「不参加＝興味がない」とは限らない。「日程が合わず」ということもある。結果として不参加だけれど、SNS 等でシェアに協力して下さったり、開催日を覚えて下さり、「参加出来ないけれど頑張っ！」と応援下さったりする方もいらっしゃる。運営側としては、「結果が全て」かもしれないけれど、「結果“だけ”が全て」ではないことを忘れてはいけない。

【チラシについて】

○申込×切を記載したのは失敗だったかもしれない。

※×切日を過ぎても充足出来ていない場合に引き続き募集する場合に、渡されたチラシに×切日が記載されていたばかりに、諦められた方もいたかもしれない。

【本番（講演時について）】

○部屋の定員が 40 名程度であれば、マイクは必要なかったかもしれない。

（マイク代高かった。勿体なかった 後悔…。）

○無意識の時間オーバーや、焦りからの時計の見誤り・時間の錯覚を防ぐためにアラームを使用したことは良かったと思う。

【今後について】

○自治体等に「後援」を依頼するという方法もあった。周知広報時の大きな助けになるかもしれないが、手続き等に時間がかかることを見越して、早目に計画する必要があるかも…。